

平成 30 年度 長野市立大岡中学校 グランドデザイン(教育活動推進計画)

長野市教育の基本理念

明日を拓く深く豊かな人間性の実現

長野市教育振興基本計画

第二期しなのきプラン

重点

確かな学力の育成
豊かな心の育成
基礎的な体力の育成

連携

学校間の連携
地域・家庭・事業所との連携

学校教育目標

豊かに 深く 耕そう

本校の教育が目指す具体的な人の姿

- 自ら学ぶ人
- 人を思いやる人
- 自ら律し自ら行動する人
- 大岡を愛する人

小学校の教育 「豊かに感じ たくましく生きる大岡の子ども」を基に

校長の願い

- ・一人ひとりを伸ばす学校教育
地元生徒と山村留学生とが互いの多様な特性を生かし合いながら自己実現を図る。
- ・小中連携による9年間の指導
- ・地域づくりの拠点となる学校

地域・保護者の願い(学校評価アンケートより)

- ・挨拶ができ、マナー・ルールを守る生徒
- ・臆せず堂々と主張できる生徒
- ・家庭・学校・地域が連携して進める教育

本年度の重点

- ①一人ひとりを大切にした学習支援 ②相手を大切にした挨拶や関係作り ③地域づくりの拠点となる活動

主体的な学習を促進する

- ・「わかる」「できる」授業の促進
- ・学校、保護者の連携による家庭学習の更なる充実
- ・校内のPDCA サイクルへの、NRTの効果的活用
- ・一人ひとりの進度に合わせた教師の支援 (T-Tや個別支援)

自己肯定感と他者理解を深める

- ・生徒と向き合い生徒理解を深め、生徒の光を見出す教師力向上研修
- ・自他を大切にすると人権教育の充実
- ・全校挨拶運動や実体験の発表会
- ・生徒会による自治的奉仕的活動の促進

地域に学び、地域に生きる生徒の育成

- ・地域と学校がWin-Winの関係を築く大岡型コミュニティスクール(大岡小・中学校応援団【縁賀和】)の活動充実
- ・学校の自立性、主体性を大事にした総合的な学習の時間の展開

確かな学力を育むために(大岡中学校学力向上推進プランの具体) 小・中連携した学力向上の基盤づくり

- ① 学習指導の充実: 学力分析、授業改善…伸びる力を伸ばす力に高める教師の指導力向上
学習ガイダンス(4月)→実態把握・生徒理解と分析(1学期)→授業改善・一人一公開授業(通年)→授業改善のまとめ(3学期)
- ② 学習環境の充実: 「学習の手引き」、小中連携した授業のユニバーサルデザイン化、ドリル学習実施…学習効果向上
・テスト前学習相談 ・家庭学習の工夫(授業連動、意図ある宿題、丁寧な評価他)
- ③ 児童生徒の理解: 小・中連続した個の育ちをとらえる、相互参観、小中合同情報交換会…効果的な指導と学力向上
NRT、全国学テ等学力検査を小学校から連動して個人の分析を行い、授業改善に活かす
- ④ 活用の場の設定: 習得した知識や技能の活用場面作り、表現活動の拡充…自己表現力やコミュニケーション力向上
・課題解決に向けた追究方法の自己決定 ・友の追究に学んだ内容を言語表現 ・授業の終末で自らの高まりが自覚できる振り返り

安全で安心できる学校作りを目指した取り組み内容

- ① 生徒の心の安定を目指して
 - ・スクールカウンセラーによる全校生徒の定期的面談の実施
 - ・人権・いじめ問題・ハラスメントなどの相談窓口の設置
 - ・虹の橋委員会・学校評議員会において、第三者による学校点検の実施
- ② 安全な学校を目指して
 - ・専門家を招へいた地滑り地帯の学習や防災教育
 - ・多様な防災訓練(火災、防災、地震他)
 - ・施設及び危険箇所毎月1度の定期点検
- ③ 教職員の非違行為防止について
 - ・生徒を含め人に学ぶ気持ちの高揚
 - ・当事者の心の訴えに耳を傾けられるようになる人権研修の実施
 - ・教職員の連携を深める諸活動の実施と人間関係の構築、生徒理解研修会
 - ・自ら求める非違行為防止研修会の実施

地域等と連携して取り組む大岡中学校の特色ある活動内容

- 全校しいたけ駒打作業(4月) ○沼津自然教室と沼津大岡中交流会(5月) ○ふき採り週間(6月)
- 地域医療の一員としての救命救急法学習(7月) ○ことぶき荘の方々との交流(12月)
- スノーバスターズ(冬季) ○注連縄作り(12月)、 ○「芦ノ尻道祖神祭り」への参加(総合)